

## 平成 26 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

日 時：平成 27 年 1 月 20 日（火） 19:00～21:45

場 所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

参加者：13 名 笹良剛史部会長（南部病院）、足立源樹副部会長（那覇市立病院）、伊藤昌徳副部会長（エムシーマーケティング(株)・ぼたん薬局）、島袋恭子（那覇市立病院）、親泊美香（ちばなクリニック）、笠原大吾（福寿薬局）、野村寛徳（北部地区医師会病院）、栗山登至（サマリヤ人病院）、福地泉（アドベンチストメディカルセンター）、崎枝久美（アドベンチストメディカルセンター）、代理：屋良看護師（中部病院）、垣花真紀子（沖縄県立宮古病院）  
Skype にて参加、増田昌人（琉大病院がんセンター）

欠席者：5 名 棚原陽子（琉大病院）、喜納三津男（きなクリニック）、大湾勤子（国立病院機構沖縄病院）  
尾崎信弘（八重山病院）、新屋洋平（沖縄県中部病院）

陪席者：1 名 下地 亜樹絵（琉大病院がんセンター事務補佐員）

### <報告事項>

今回も skype を使用しての会議が行われた。

### 1. 平成 27 年度第 3 回緩和ケア部会議事要旨

伊藤委員より、資料 1 に基づき、「平成 26 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

### 2. 緩和ケア研修会について

伊藤委員より、資料 2 に基づき、平成 26 年度緩和ケア研修会が全て修了したとの報告があった。

### 3. 第 2 回沖縄県除痛率改善研修会について

伊藤委員より、資料 3 に基づき、県医師会館にて 12 月 6 日（土）に研修会が行われたとの報告があった。参加者は医師 15 名、看護師 44 名、薬剤師 11 名を含む 85 名。i pad を使用したスクリーニングの実践等があり参加者からは「少しやる気が落ちていたけど頑張ろうと思いました」などの意見があった。

### 4. 第 2 回都道府県がん診療拠点病院緩和ケア部会

伊藤委員より、資料 4 に基づき、緩和ケア部会の議事次第が報告された。補足で増田委員より国がんのHPに議事録と資料一覧が公開されるので確認して欲しいとのお願いがあった。

また、今年から緩和ケア研修会が新カリキュラムで開催される事について 2 月 28 日、3 月 1 日に東京、大阪で指導者の為の研修会が開催されるのでぜひ研修を受けるようにとの報告があった。

沖縄県では来年度から新課程での統一カリキュラムで緩和ケア研修会を開催することが承認された。

### 5. 的場班第 2 回班会議

笹良部会長より 11 月 27 日に青森県で開催された的場班の班会議の報告があった。

青森では毎日スクリーニングの際に、これまでは紙ベースで行っていたが i pad i pod を使い始めたとの報告があった。

この会議の実践として、12 月 6 日に除痛率改善研修会が開催された。

### 6. その他

増田委員より緩和ケア修了者に日本緩和医療学会よりピンバッジがまだ来ていないが、届き次第、委

員の皆様にメールで連絡するとの報告があった。

#### <協議事項>

##### 1. 精神科医の選考について

増田委員より資料5に基づき、琉大から精神科医を緩和ケア部会へ委嘱する事は難しいとの報告があった。部会委員で協議した結果、拠点病院にこだわらず、南部医療センターの精神科医へ委嘱状を送付する事が承認された。

##### 2. 緩和ケア研修会修了者を患者とその家族に対して分かり易く情報提供することについて

資料6に基づいて、増田委員より拠点病院で積極的に情報提供をして欲しいという呼びかけがあった。琉大はポスターを掲示予定である。

##### 3. 緩和ケアの普及啓発についてハンドブックにオレンジバルーンのリーフレットを差し込むことについて

サイズがA4のため差し込めないという事と、リーフレットの配布方法が問題となり無しとなった。過去に作成したA4一枚の「緩和ケアの事していますか」を啓発活動としてがん専門病院へ送付、周知方法は各病院に委ねるという事で承認された。

##### 4. 現況調査について

資料8に基づき、増田委員より県内3つの拠点病院が出した現況調査にいいえの回答が多かった為、厚労省より県へこれでは更新できないとの報告があった。

3月の個別ヒアリングまでに改善出来ている部分があればはいに直して提出して欲しい。

八重山病院は緩和ケアチームがないので、作る必要性がある。

##### 5. 今年度のフォローアップ研修会について

資料9に基づき、部会委員の皆様で、講師や開催時間プログラム等について協議され3月7日(土)沖縄県医師会館にて開催することが承認された。

##### 6. 平成26年度事業評価について

###### 1年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする

実績：拠点病院3施設、ハートライフ病院、浦添総合病院、豊見城中央病院で開催済み。

評価：10点

次年度：継続。拠点病院以外の開催可能な病院と連携し修了者が増加するように強化する。又、拠点病院の研修医(2年目～5年目)の必修義務に対応できるよう支援する。

###### 2緩和ケアフォローアップ及び在宅緩和ケア研修会を開催する

実績：緩和ケアフォローアップ研修会を平成27年3月7日(土)、沖縄県医師会館にて開催予定。

平成26年10月4日(土)第1回那覇市在宅ケアネット市民フォーラム開催済み。

評価：10点

次年度：緩和ケア研修会の概要が変わる為、再検討。

###### 3. 在宅緩和ケア地域連携事業

(1) 二次医療県内の在宅医療支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せるマップの作成・メンテナンス

実績：更新中

評価：7点

次年度：継続

(2) 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用

実績：作成済みだが、症例が1件しかなく運用が出来ていない

評価：5点

次年度：継続。がんセンターと医療支援センターで協議していく

4. 除痛率調査

実績：平成26年12月6日（土）に除痛率研修会開催済み。琉大、豊見城中央病院にて調査を実施。

評価：10点

次年度：痛みのスクリーニングと除痛率調査を行う。

5. 看取りを施設で行うための勉強会の実施

実績：今年度は勉強会を10回実施した。

評価：10点

次年度：継続

6. 緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟をもつ病院、在宅医療との連携を把握する

実績：ホスピス病棟や在宅医療者との交流会を行った。

評価：8点

次年度：緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟を持つ病院、在宅医療との連携を把握する。

7. チーム医療体制の強化をするための基礎データ収集について

実績：がんリハビリ理学療法士、緩和薬物療法薬剤師の人数把握済み。

評価：10点

次年度：継続。データ収集を行う。

8. 緩和ケア認識の普及（一般向け）

実績：平成26年8月24日（日）開催の在宅医療セミナーへの支援を行った。

評価：10点

次年度：本島での講演会などの開催を支援、後援する。

9. 患者会への協力

実績：未実施

評価：0点

次年度：宮古と石垣で患者会を後援する。又は講演会を開催する。

10. 行政との交流会を行う

実績：未実施

評価：0点

次年度：「行政との交流会」とし、県職員や関連担当者との交流会を持ち、緩和ケアについて理解を深めてもらうよう支援する。

7. 平成27年度事業計画と予算案について

委員の皆様から大幅な改定をした方がよいとの意見が多かった為、各自持ち帰りメールで意見交換する事になった。

また、それを受けて2月14日（土）に年間計画立案の研修会を開催することとなった。

8. 平成27年度の緩和ケア研修会について

琉大から日程を決め、各施設と連携して最終決定をする。

2月28日、3月1日の開催される緩和ケア指導者研修会で新カリキュラムが発表されるので次年度からはこれまでとは変更された内容の研修会を開催する見込みである。

#### **9. 次回の緩和ケア部会開催日程について**

平成27年4月14日（火）19：00～開催で承認された。

#### **10. その他**

緩和ケア部会を周知させるためにも、次年度からは後援を積極的に行っていこうとなった。

野村委員が北部地区医師会病院からハートライフ病院へ転勤になるとの報告があった。